

高校名	氏名	質問内容	先生からの回答
-	-	色々な国や事例から考え方を学ぶ学部ですか？	<p>まさにその通りです。人は日本のある地域に住み続けている限り、その地域で「普通」とされていることに疑問をさしはさむことは難しいですが、国内の他の地域やコミュニティに行ってみると、その「普通」が必ずしも「普通」ではないということが分かります。身近な例ですが、エスカレーターの右と左のどちらに立つかは、少し前までも、地域によっては今でも、関西では右側、関東では左側の傾向があります。なぜ違いがあるのか、なぜそうなったのか、これは今いる場所を離れてみないと思いつきません。これを「相対化」と言います。相対化は学問にとって重要な一歩となります。自分を相対化することで、「普通」が「普通」ではないことが分かり、それは変えることもできるという可能性が生まれ、思考の幅が広がっていきます。色々な国や地域の事例の現在について知り、その現在を生み出した歴史を学ぶことで、「普通」が形成される過程を知り、その意味について考えることができます。また、他の国や地域について学ぶことで、逆に日本社会に対する理解や関心も深まってくるはずで、是非一度自分の生きる環境の外に目を向けてみてください。</p>